

- ◆ 漁業、新たな取組みを学ぶ研修会・3 1
- ◆ 平成30年度下半期の主な事業 2
- ◆ 平成30年度下半期の主な事業・トピックス 3
- ◆ 平成31年度事業計画及び予算・イベント散歩 4

発行：一般財団法人
横須賀西部水産振興事業団
〒240-0101 横須賀市長坂2-2-2
☎ 046-857-6596

漁業、新たな取組みを学ぶ研修会 3



1月23日(水)、西浄化センター会議室において「漁業、新たな取組みを学ぶ研修会3」を開催しました。

研修内容は(1)「小田和湾の磯焼け対策、その取り組み」と題して、アジア航測の中村光一氏から(2)「藻場を見守り育てる知恵と技術」と題して、東京海洋大学大学院准教授の藤田大介氏から講義がありました。

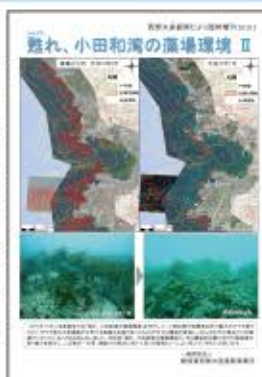
藤田准教授から磯焼け対策に特效薬はない、地道に一つ一つ対策を試みる事が解決につながる。この小田和湾周辺の海で実証できるように調査を続けていく。首都圏のこの場所なら漁協、学校、地域の方々に協力など多くの力を集約できる、そしてその成果を広く発信して行こうと講義がありました。最後に神奈川県水産技術センター所長の利波之徳氏から総括の言葉があったり研修会を終了しました。



「甦れ、小田和湾の藻場環境Ⅱ」を発行

1月23日(水)

平成30年度調査を実施した「小田和湾藻場保全調査」により磯焼け対策の事例や小田和湾の水質を浄化する調査を紹介しました。大楠漁協、長井町漁協、海洋科学高校や周辺の研究機関の取り組みを広く地域の方に知ってもらうために西部水産振興だより臨時増刊として発行しました。



平成30年度下半期の主な事業

当事業団は横須賀市域部分の相模湾の水産振興と環境美化を目的に活動しています。

平成30年9月以降の事業活動を振り返って紹介します。

■海洋科学高校生徒とカサゴ種苗放流

9月21日(金) この日の朝、雨が降り予定していた大楠小3年生の放流は中止になりましたが近くで研修をしていた海洋科学高校の生徒さんが急遽参加してくれました。8時半芦名漁港で1000尾、船で3000尾を放流、長井の新宿漁港に移動して4000尾を放流しました。長井での放流は雨足が強くなり海洋高校の生徒さんはカッパを着て放流、ご協力ありがとうございました。



■荒崎海岸で清掃活動とクロダイ放流

9月23日(日) 「荒崎海岸クリーンフェスタ2018秋」が開催され、約150名が海岸清掃とクロダイの種苗放流を行いました。同時に中央水産研究所の施設公開がありました。たいへん、賑わっていました。



■サザエ、アワビの稚貝を放流

10月16日(火) サザエを1500個、アワビを3000個長井地区に放流しました。



11月13日(火) サザエを1500個、アワビを3000個大楠地区に放流しました。



■海の安全と救急救命を学びました。

10月17日(水)平成30年度「海難防止と救急救命研修会」を開催しました。海難防止については講師を横須賀海上保安部交通課に依頼し漁船の衝突・乗揚げ事故注意や作業中の転落注意などを学びました。救急救命研修は横須賀市消防局救急課に依頼して、応急手当やAEDの使用について実技を



交えて研修を受けました。受講者は何回か参加しているが、ときどき研修を受けることは有意義だと話していました。



トピックス オーナーは27歳、玄栄丸(ハルエイマル)が漁を始めました。

昨年8月、長井の井尻漁港に拠点を置き、長年、師匠の原田昭一さんに指導を受けながら漁師の技術を学んだ佐藤玄規(ハルキ)さん(27歳)が自分の船、玄栄丸を購入し今年4月に独立を目指しています。主にトラフグやヒラメ、夏はカマスやタコ漁をするとのこと。期待の若い漁師さんを皆で応援しましょう。

トピックス 長井町漁協の事務所が市場の2階に移転しました。

今年、1月15日から長井町漁協の事務所は耐震補強改修工事が終了した地方卸売市場2階で事務を開始しました。明るく、スッキリした事務所です。

平成31年度 事業計画及び予算

平成31年度の実施事業は横須賀市の相模湾沿岸での「海岸環境保全と美化活動」、「水産振興を目的とした調査研究及び種苗放流」、また広く地域の皆様を対象とした海や魚を題材とした研修会、そしてその取り組みを紹介する広報活動を次表の平成31年度予算により事業を実施していきます。

事業名	事業費
① 環境保全事業	3,013千円
② 調査研究・保護培養事業	6,740千円
③ 研修事業	1,117千円
④ 広報事業	878千円
⑤ 調査研究助成事業	500千円
⑥ 経営安定事業	6,000千円
事業費計	18,248千円
⑦ 管理費	2,242千円
総計	20,490千円

イベント散歩 海や地域の行事、漁業者の交流大会に参加してきました。

10月7日(日) 第17回 よこすかさかな祭り

平成町の横須賀魚市場で朝7時から正午まで、魚を見て、食べて、遊んで、学んで、買ってというねらいのもと、さかな祭りが開催されました。開場前から大行列、この行事の人気にビックリしました。海洋高校のブースで海藻を食べてしまうアイゴの磯焼けバーガーを食べてきました。



10月20日(土) 電力中央研究所公開2018

毎年恒例の研究所公開に初めて行ってみました。広い敷地に電中研らしい企画がいっぱいでした。自転車での発電、顕微鏡でミクロの世界を見たりしました。迫力があつたのは雷の実験で強力な電気を作って一気に放電、ドーンと落雷が見ることが出来ました。



11月4日(日) 横須賀産業まつり2018

3日(土)と2日間開催される横須賀最大の行事です。市内の企業、横須賀に関係のある団体が多く集まり、多くの方が入場していました。大楠漁協、長井町漁協ブースで当事業団のポケットティッシュを配布して広報に努めました。



12月9日(日) JAMSTEC研究船「よこすか」一般公開

国立研究開発法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)の研究船「よこすか」を久里浜港まで見学に行きました。となりで黒船朝市も開催されて予想を超える人が集まっていた。船内を見学、最後に自律型無人深海探査機「じんべい」を見てきました。



12月11日(火) トラフグ研修会

城ヶ島にある神奈川県水産技術センターの会議室で開催され、漁業関係者や近隣の研究機関の方が参加していました。単価の高いトラフグがどのように移動して成長していくのか、種苗放流の方法、効果についてなど興味深い話を聞くことができました。



1月10日(木) 神奈川県漁業者交流大会

横浜駅西口にある神奈川県民センターで開催されました。県内の漁業者、水産関係団体が情報交換をして漁業の担い手の育成、水産業の活性化を目的に漁業士認定書授与式や活動発表が行われました。アマモの造成の発表は磯焼け対策に効果があると感じました。

